

# 採用市場の変化からみる 2022年卒新卒採用の展望について

2021/2/15



## 採用市場の変化からみる2022年卒新卒採用の展望について

1. 21卒の振り返り
2. 22卒の現状と3月の重要性
3. コロナによる影響
4. まとめ

## 採用市場の変化からみる2022年卒新卒採用の展望について

1. 21卒の振り返り
2. 22卒の現状と3月の重要性
3. コロナによる影響
4. まとめ

# 1. | 21年卒採用の振り返り

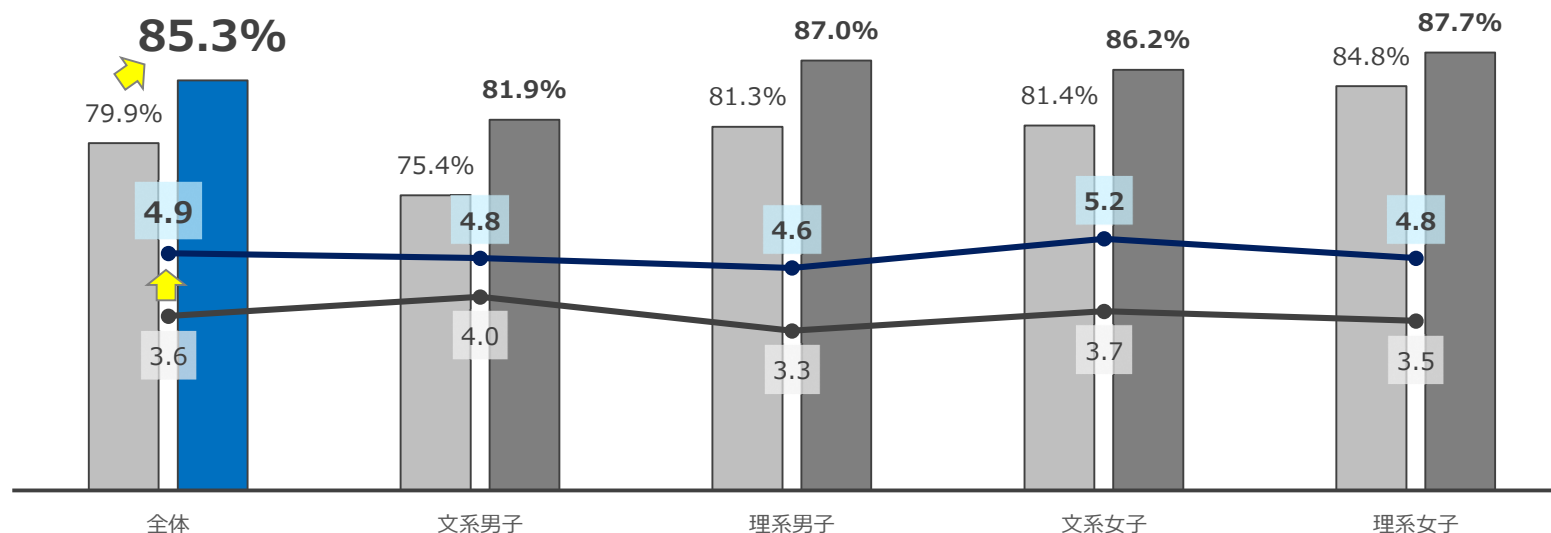
学生



学生のプレ期間の活動量は前年から増加 ※プレ期間とは6月～2月の就職解禁前のことを指します。

インターンシップの参加経験と平均参加社数 (前年比較)

■ [20卒]インターンシップ参加経験割合 ■ [21卒]インターンシップ参加経験割合 ● [20卒]平均参加社数 ● [21卒]平均参加社数



## ★学生のインターンシップ参加率や参加社数は増加

学生のインターンシップ参加率は約9割で、前年から5.4ポイントと増加している。  
また、学生1人あたりのインターンシップ平均参加社数は1.3社増加している。  
就職活動に向けた準備が早期化していることが分かる。

IS

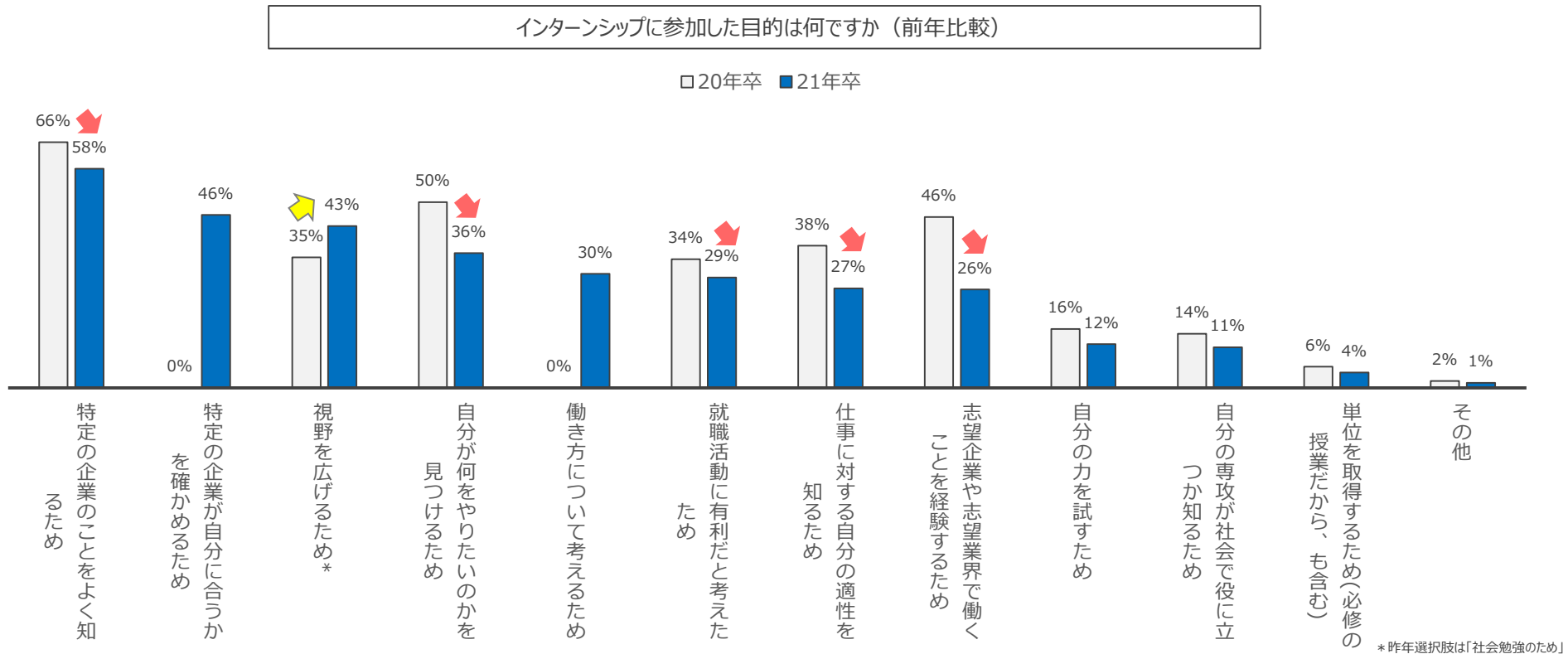
エントリー

説明会

選考

内定

## 学生のインターンシップ参加目的は『視野を広げるため』が増加



### ★プレ期間のうちに自分に合う企業や興味のある業界を探す傾向が高まっている

インターンシップに参加した目的は、前年同様『特定の企業のことをよく知るため』が最も高い。ただし、前年と比べると8pt減少している。一方、『視野を広げるため』が8pt上昇しており、複数の企業・複数の業界のインターンシップに参加しながら、プレ期間のうちに自分に合う企業や興味のある業界を探す傾向が高まっていると考えられる。

# 1. | 21年卒採用の振り返り

学生



IS

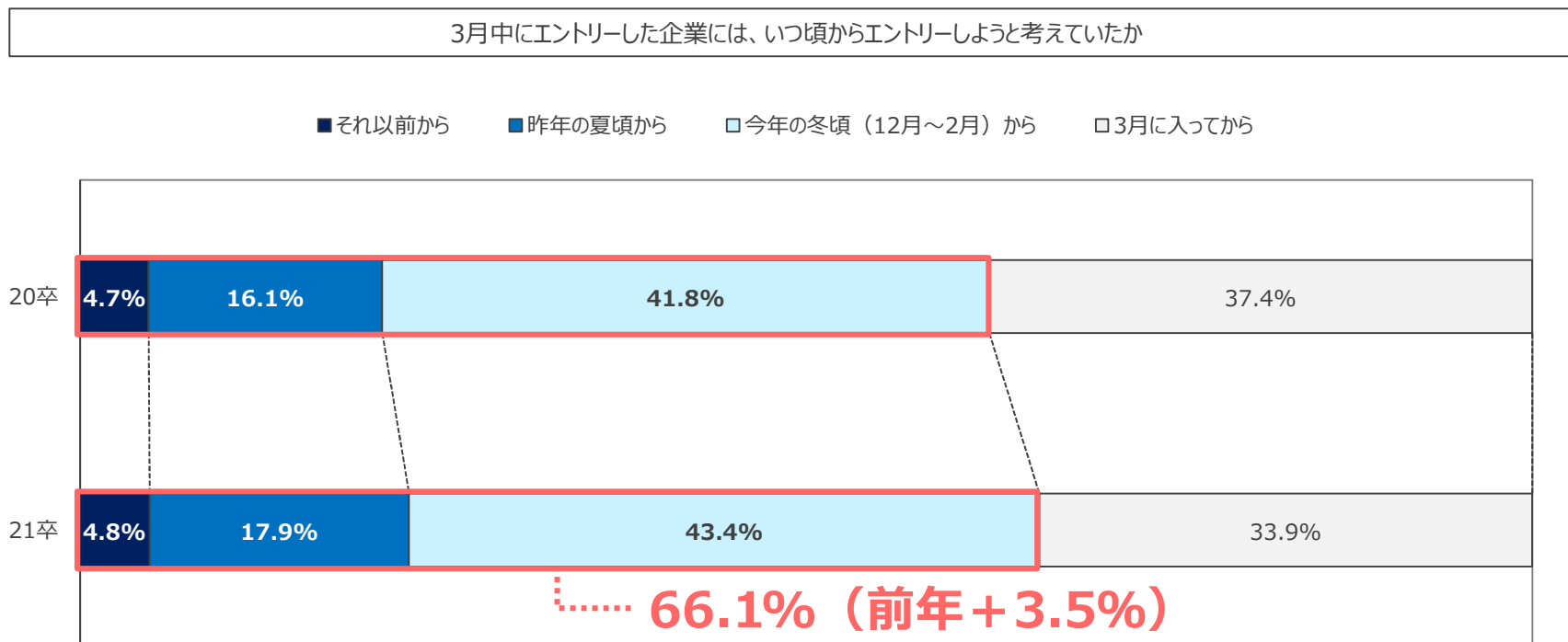
エントリー

説明会

選考

内定

学生はプレ期間から3月にエントリーする企業を選定している



**★学生の3月にエントリーをした企業のうち約7割がプレ期間からエントリーを検討していた企業**

学生の3月エントリー企業のうち3月に入ってからエントリーを決めた企業は約3割。

学生はプレ期間から就職候補先企業を探していることがわかる。

# 1. | 21年卒採用の振り返り

学生



IS

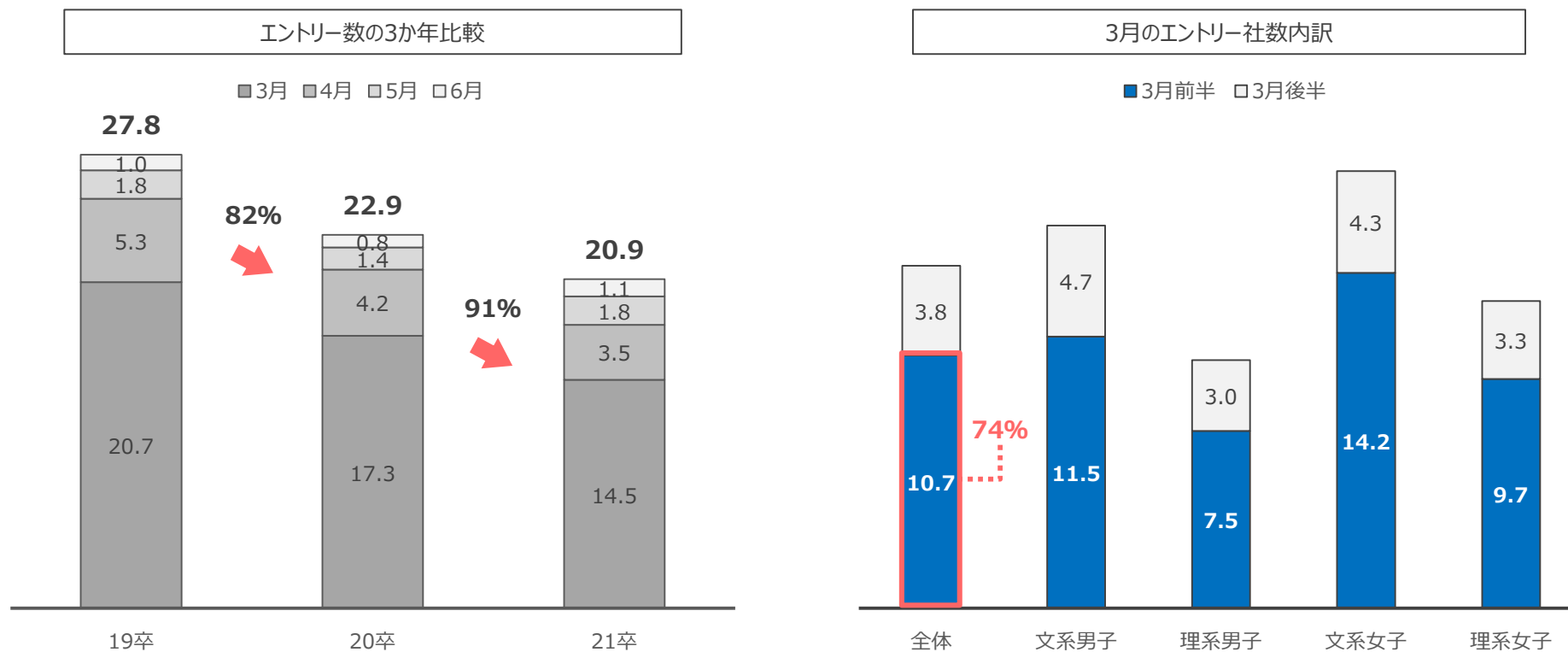
エントリー

説明会

選考

内定

学生の3月以降のエントリー数は3年連続で減少している



## ★学生の3月以降のエントリー数は減少。そのうち、3月前半のエントリーが最も多い

6月末時点のエントリーは約2社減少。昨年同様エントリーは3月に集中していることがわかる。

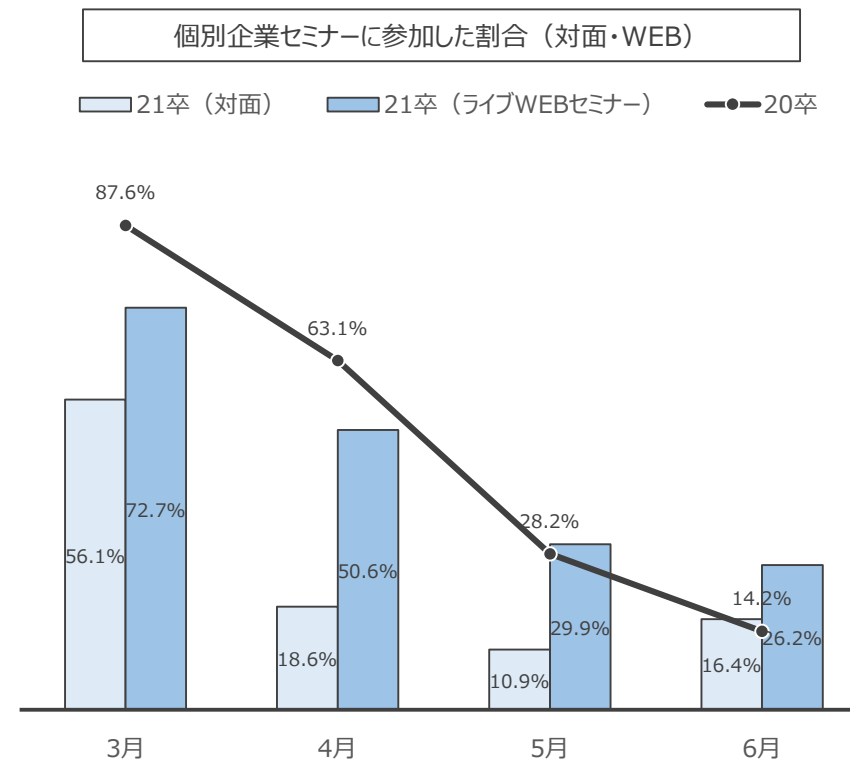
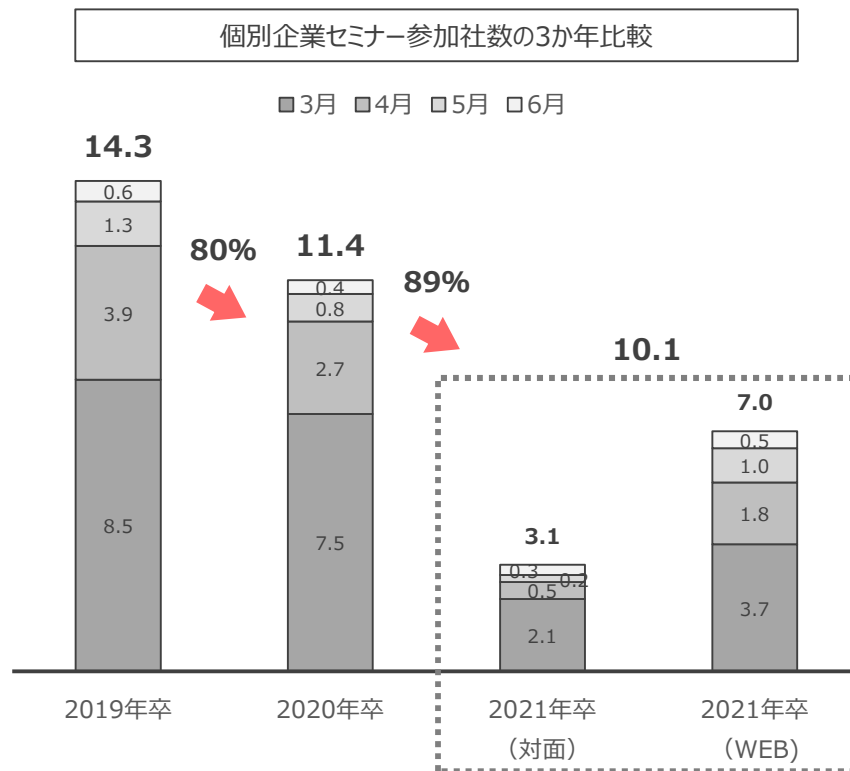
(21卒5月のエントリー数が前年より増加している理由は、コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後に学生の動きが活性化したこと  
また、エントリーは3月に集中しており、3月のエントリーの74%が3月の前半に行われている。

# 1. | 21年卒採用の振り返り

学生



学生の3月以降の活動は減少しているが、一定数の活動は行われている



## ★学生にとって3月以降の活動は欠かせないものである

21年卒の学生は、**コロナウイルスの影響を受けて『WEB形式』の説明会への参加が主流となった。**

昨年同様セミナー参加は3月に集中しているが、5月以降のセミナー参加社数が前年より増加している。

理由は、コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除後に学生の動きが活性化したことだが、

プレ期間の活動で十分だったのであれば、上記のような推移になるとは考えにくく、学生にとって3月以降の活動は欠かせないものであると考えられる。

IS

エントリー

説明会

選考

内定



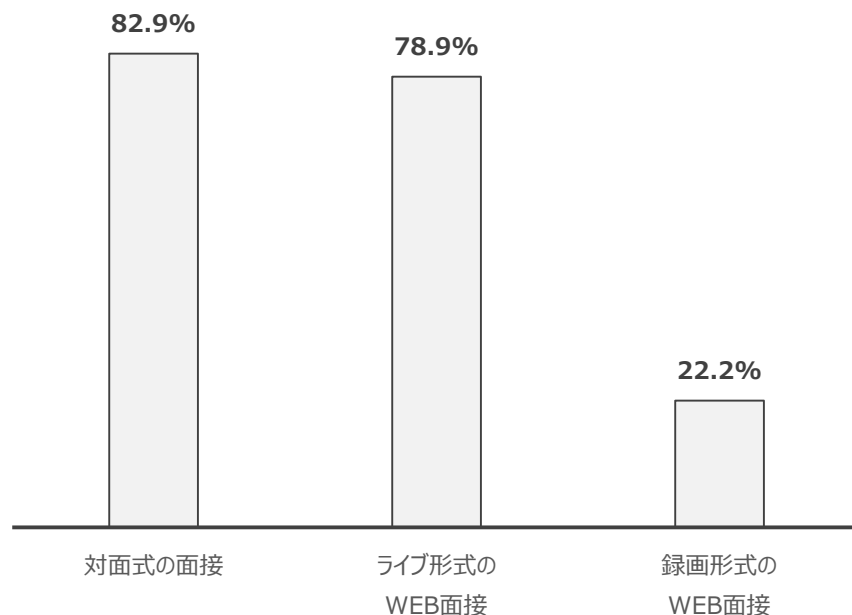
# 1. | 21年卒採用の振り返り

学生

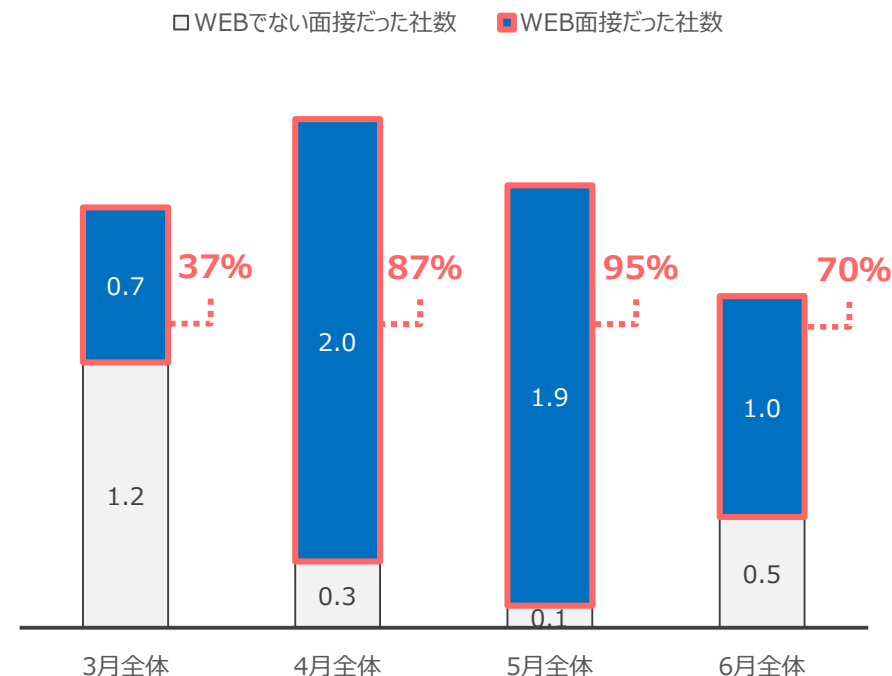


## 21卒はコロナウイルスの影響によりWEB面接が普及

これまでに受けた面接の形式



面接受験社数とWEB面接の割合



### ★ライブ形式のWEB面接の経験率は79%、5月に受験した面接の95%はWEB面接

21卒採用は、企業がコロナウイルス対策を取りながら採用活動を行ったため、WEB面接が急速に広がった。ライブ形式のWEB面接の経験率は79%。また、5月に学生が受験した面接のうち95%はWEB面接であった。WEB面接が広く利用されていることが分かる。

IS

エントリー

説明会

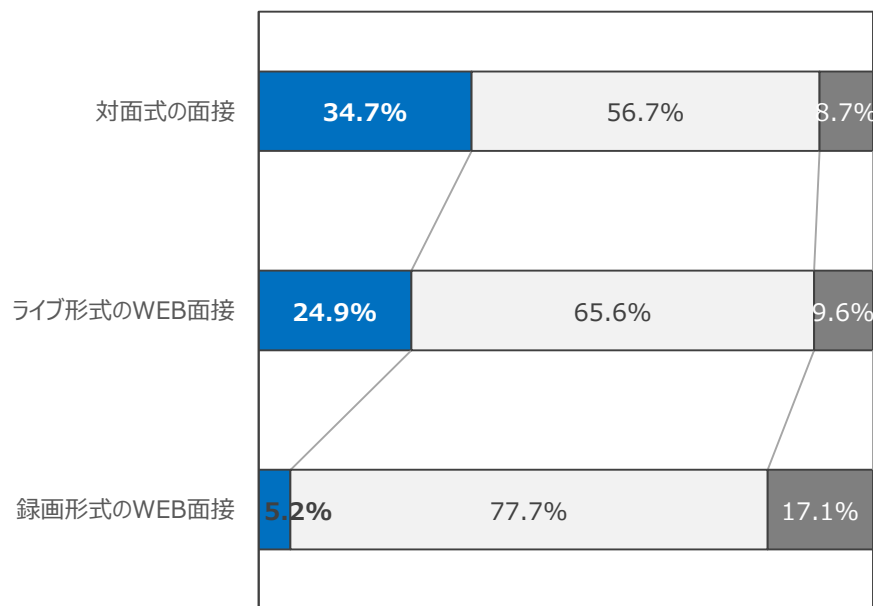
選考

内定

## WEB面接は対面面接より、学生の志望度を上げる工夫が必要

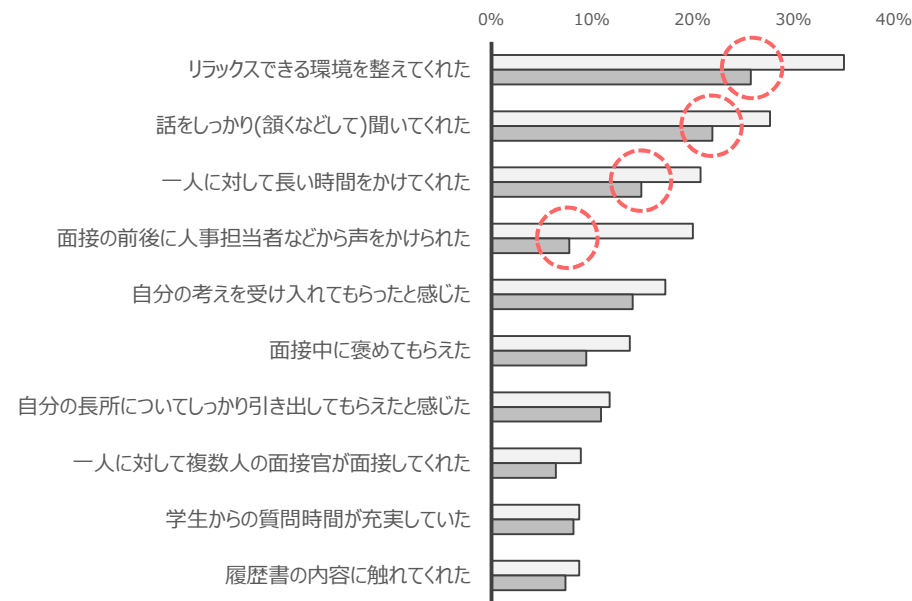
面接を受けた後の、その企業に対する志望度変化の割合

■ 志望度が上がった □ 変わらなかった ■ 志望度が下がった



面接で志望度が上がった理由（上位10位抜粋）

□ 対面式の面接 ■ ライブ形式のWEB面接

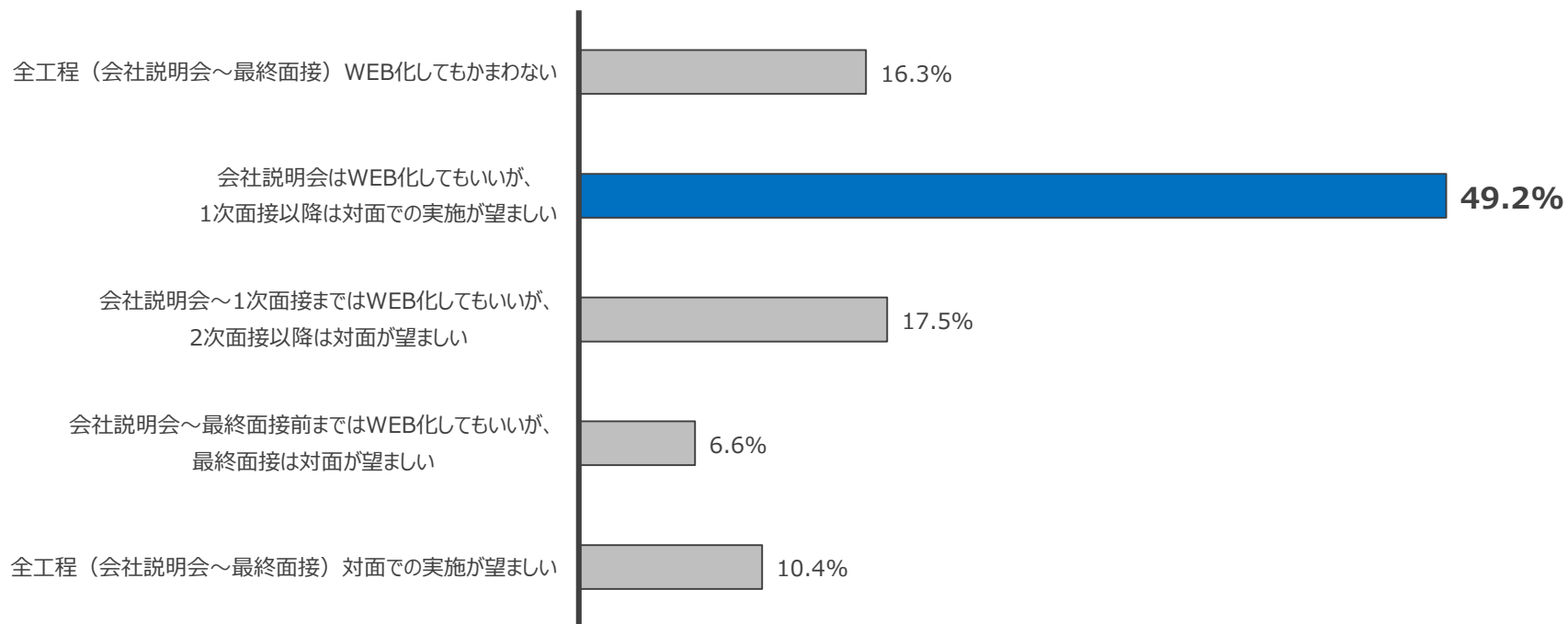


### ★対面形式の面接とWEB形式の面接では、学生の志望度向上に差が生じている

対面形式の面接で志望度が上がった学生は34.7%に対し、ライブ形式のWEB面接は24.9%、録画形式のWEB面接は5.2%だった。面接で志望度が上がった理由で対面とWEBの差が大きい項目は『リラックスできる環境を整えてくれた』『話をしっかり聞いてくれた』『一人に対して長い時間をかけてくれた』『面接の前後に人事担当者などから声をかけられた』であった。WEB形式の面接を実施する際は、対面をWEB化するだけでなく、上記項目に対する工夫を検討する必要がある。

## 学生は選考の初期段階はWEB化を受け入れ、選考の最終段階は対面を望む

就活における【対面・WEB】での実施方法について、あなたの考え方に最も近いもの



### ★学生は選考の初期段階はWEB化を受け入れ、選考の最終段階は対面を望む

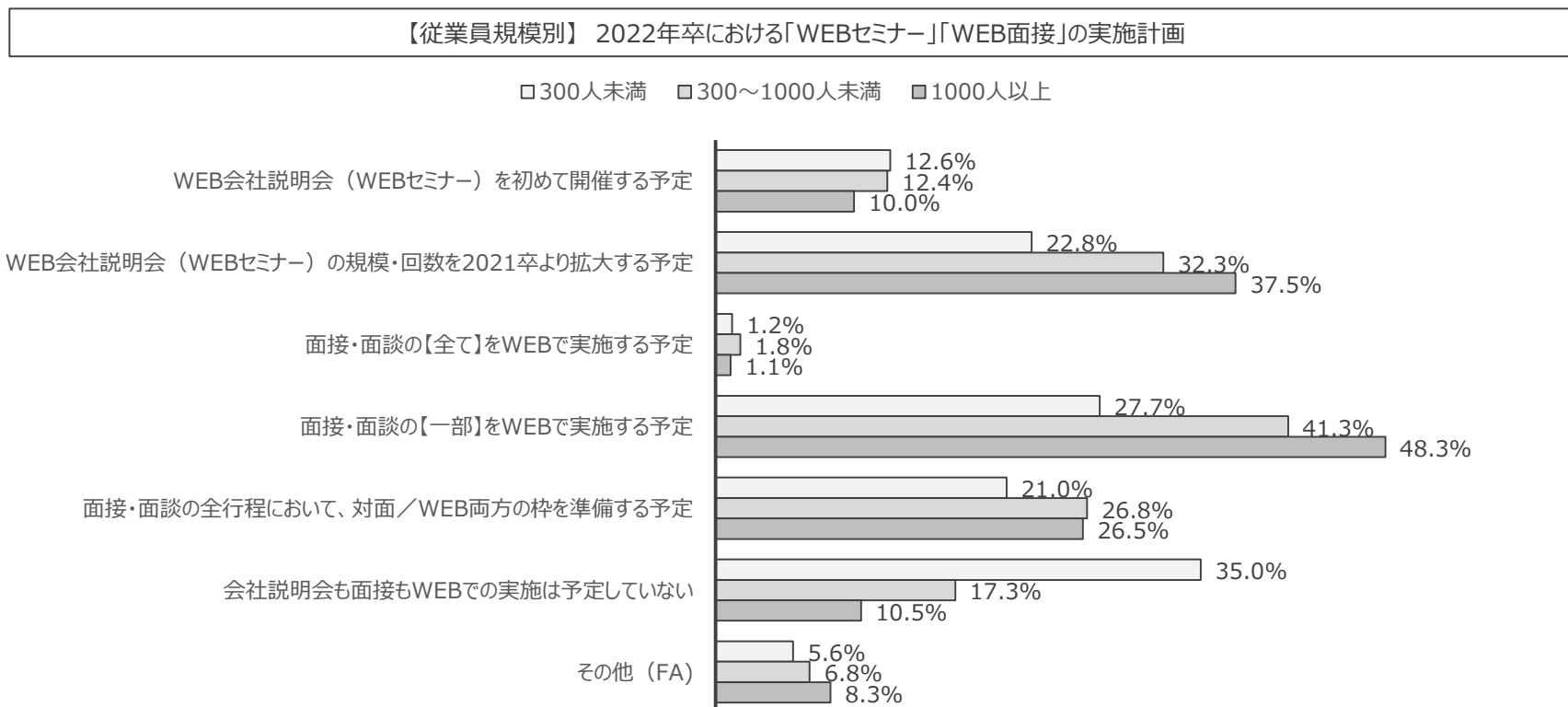
学生は就職活動において『WEB』か『対面』のどちらかでの実施統一は希望しておらず、『WEB』と『対面』の併用を受け入れている。

上記は、コロナウイルスの影響もあるが、学生の現住所から参加しにくい企業の選考へ参加出来たり、交通費が節約できることが理由と考えられる。

ただし、選考のどのタイミングでもWEB化を受け入れているわけではなく、『説明会』や『1次面接』などの選考の初期段階まではWEB化を受け入れる傾向。

採用活動にWEBを導入することで、企業側には採用業務の効率化や母集団増加のメリットが考えられるため、今後はWEBと対面を併用した採用活動を検討する必要がある。

## 22卒採用では、採用活動にWEBツールの導入を行う企業が増加する見込み



### ★従業員規模を問わず、22卒採用活動にWEBツールの導入を行う企業が増加する見込み

21卒採用でWEB説明会やWEB面接が急速に普及したが、22卒採用でも継続して採用活動にWEBツールの導入を行う企業が増加する見込み。新型コロナウイルスに対する対策と、採用をWEB化することで企業・学生ともに『場所』や『コスト』が軽減できることが背景にあると考えられる。

## 21年卒採用のまとめ

### ■ 学生のプレ期間の活動量は増加

- ・学生のインターンシップの参加率・参加社数は増加
- ・学生はプレ期間から3月にエントリーする企業を選定している

### ■ 学生の3月以降の活動量は減少しているが、一定数の活動は行う

- ・セミナー参加は3月に集中しているが、5月以降のセミナー参加社数が前年より増加

### ■ コロナウイルスの影響で採用活動にWEBツールが普及

- ・学生の参加した説明会の半数以上がWEB形式
- ・約8割の学生がWEB面接の経験あり
- ・学生は選考の初期段階はWEB化を受け入れ、選考の最終段階は対面を望む

## 採用市場の変化からみる2022年卒新卒採用の展望について

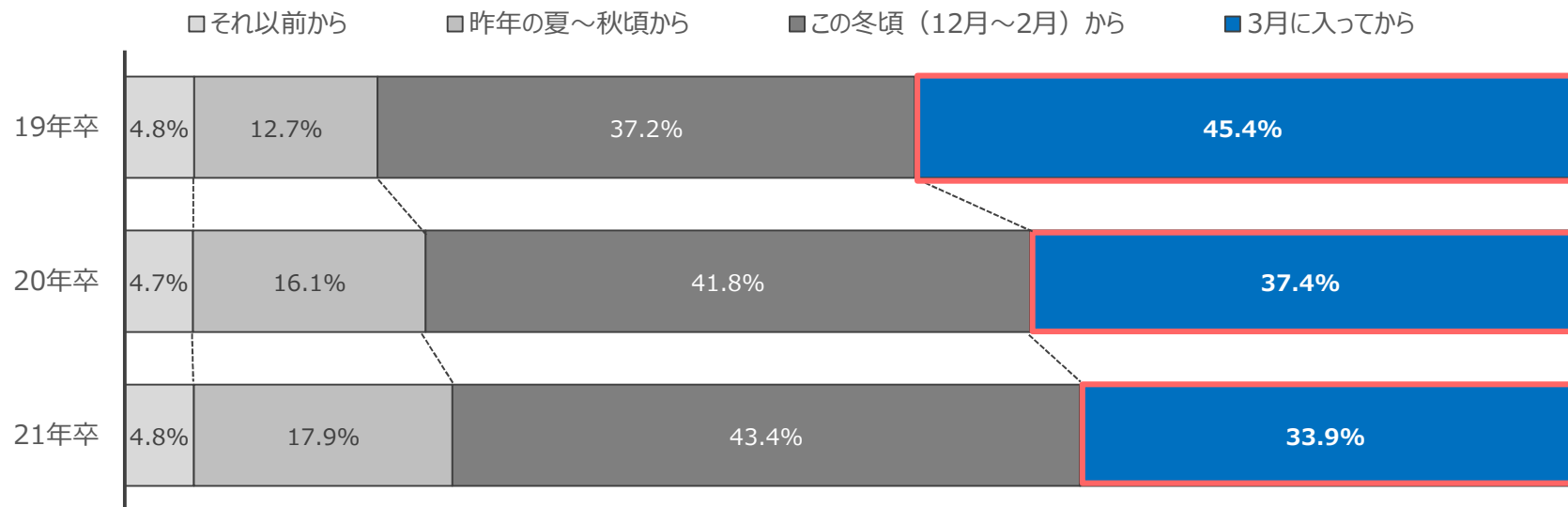
1. 21卒の振り返り
2. 22卒の現状と3月の重要性
3. コロナによる影響
4. まとめ

### ① 学生はプレ期間に企業を選んでいる

学生はプレ期間に企業を選んでいるため、3月から採用活動を行う企業は  
**3月に学生から発見される・選ばれる必要**がある

#### ★ 学生はエントリーする企業の約3割を3月に決定している

3月中にエントリーした企業には、いつ頃からエントリーしようと考えていたか

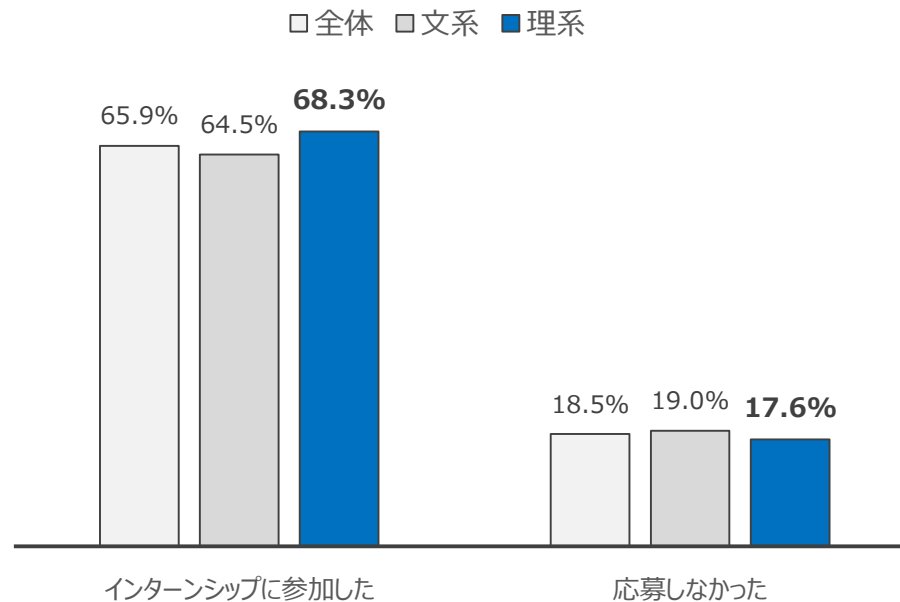


### ②理系学生は、より一層プレ期間から活動をしている

理系学生は**プレ期間の活動が活発**なため、  
理系学生を採用したい企業は、より一層努力が必要

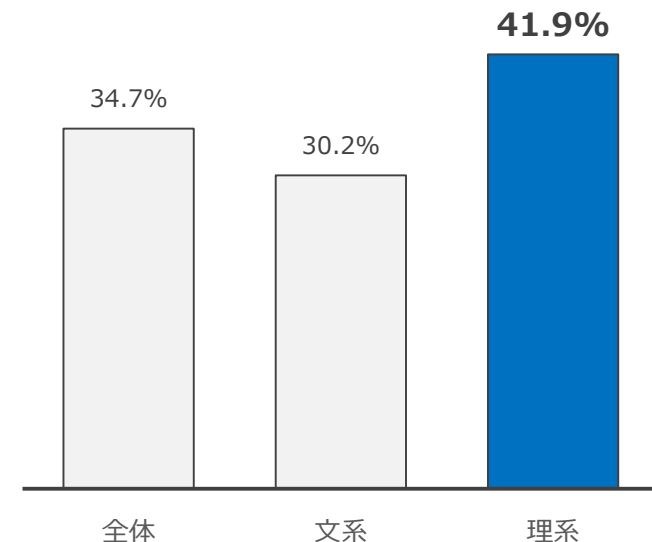
#### ★理系学生は文系学生より、インターンシップに参加している

22年卒 4月～9月のインターンシップ参加状況



#### ★理系学生は、就職活動の方向性を固める時期が文系学生より早い

就職活動の方向性（志望業種や企業、職種、大事にしたい価値観など）が固まった



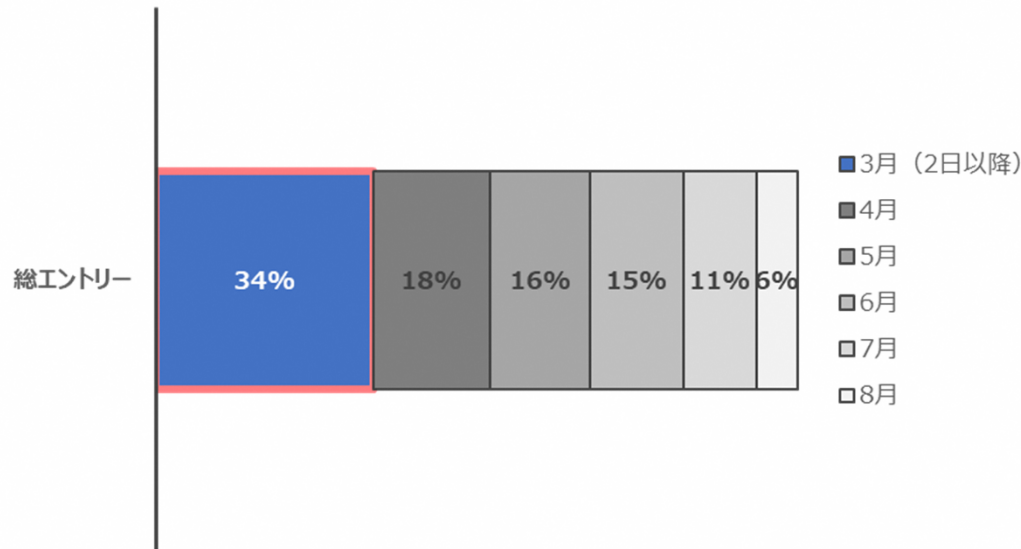


### ③ 時期が遅くなるにつれて活動学生数は減少する

3月以降は、活動学生数が減少し続けるため、  
**母集団の確保のため**には3月の施策が重要である

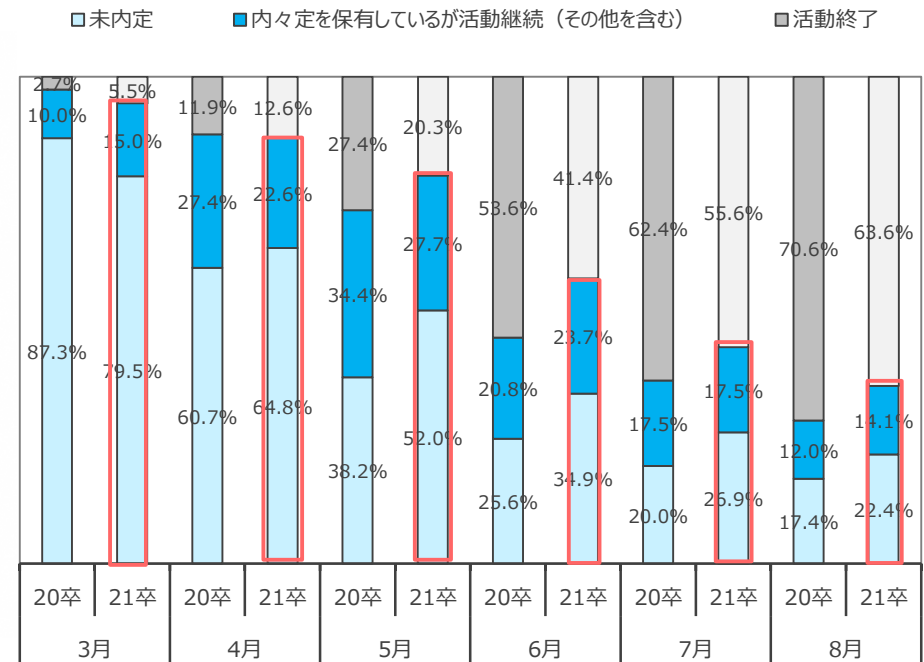
★8月までの総エントリーを100%とすると  
3月は2日以降で約3割を占めている

マイナビ2021 3月（2日以降）～8月 月別総エントリー



★3月以降の活動学生数は減少しつづける

学生の就職活動状況の推移











### プレ期間に学生の活動がよっているため、3月以降の活動量は減少する可能性がある

----- 予測（前年実績をもとにした予測）

————— 現状

※プレ期間とは6月～2月の就職解禁前のことを指します。

	学生		企業	
	学生1人あたりの行動量	マイナビサイト全体のエントリー量	マイナビ掲載社数	1社あたりのエントリー
22プレ期間 (11月30日時点)	(156%) 	(160%) 	(86%) 	(約172%) 
3月1日以降				
補足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターン市場の活性により、プレ期間に『志望業種・職種の選定』『応募する企業の選定』が進み、3月1日以降にエントリーする企業は減る可能性あり</li> <li>・応募するインターンシップは増加、参加するインターンシップは微増のため、インターンシップを選別している可能性がある</li> <li>・インターンシップを通して『若手社員』との関わり求めている</li> <li>・約7割の学生がプレ期間中に入社予定先を発見（2021年卒内定者意識調査より）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ期間の掲載社数は減少</li> <li>・3月1日以降も企業の新卒採用の実施状況が9割になると、掲載社数は減少の可能性（2021年卒採用予定調査より）</li> </ul>	

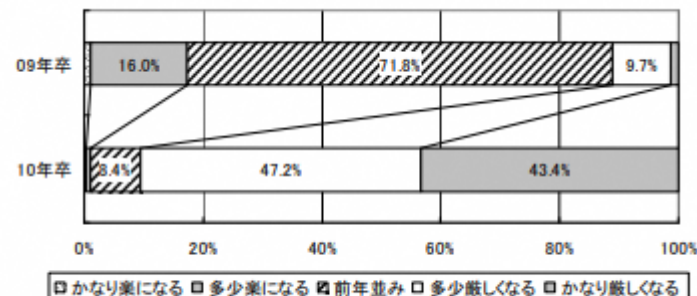
9割の学生が就職は厳しくなると認識 安定志向と、長く勤めたいとの意識が上昇

学生の危機感が強くなる

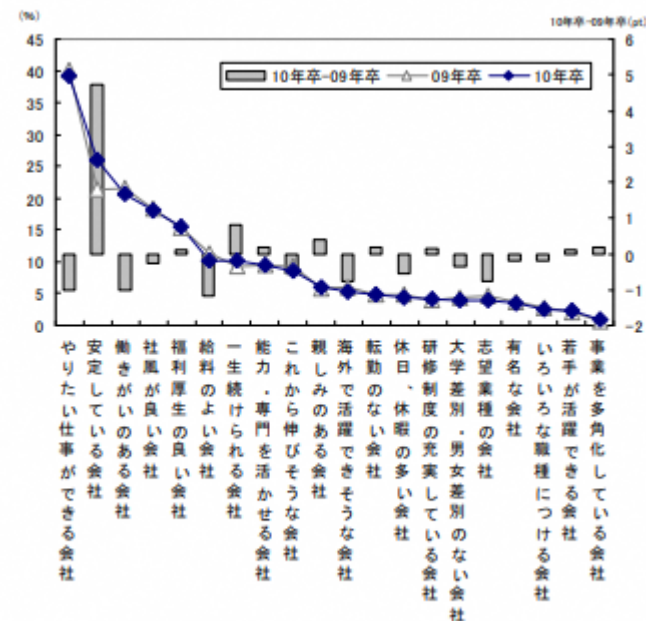
学生は就職活動のスタート時から就職環境に強い危機感を持っていた(図2-1)。2009年卒学生を対象とした2007年10月調査では「就職環境は前年並み」が7割、「就職は前年より楽になる」が1割程度だったが、2010年卒学生を対象とした2008年同月調査では、「就職は前年より厳しくなる」が9割にまで達し、しかもその半数近くは「就職は前年よりかなり厳しくなる」となっている。今期の学生の意識は前期の学生の意識から180度変わったといえる。

学生の安定志向が強まる

学生の意識は、安定した会社で長く勤めたいという、堅実なものへと変化した。2008年末から2009年明けに実施した調査では、希望する企業として「やりたい仕事ができる会社」が前年調査と同じく首位だが、前年調査で三位だった「安定している会社」が大きく数値を伸ばし、「働きがいのある会社」を抜いて二位に浮上したのだ(図2-2)。さらに2008年10月調査では、キャリアステップを問う設問で「キャリアを優先して転職もいとわない」の割合が前期の19.3%から今期15.2%へ4.1pt減少し、「新卒で入社する会社で長く勤めたい」が前期の71.4%から今期77.6%へ6.2ptと大きく増加している(図2-3)。「安定志向」と「長く勤めたい」の増加は、いずれも近年続いていた傾向だが、今期の厳しい景況感を受けて一段と傾向が強まっている。



【図2-1 2010年卒の就職環境：10年卒マイコモニター調査10月】



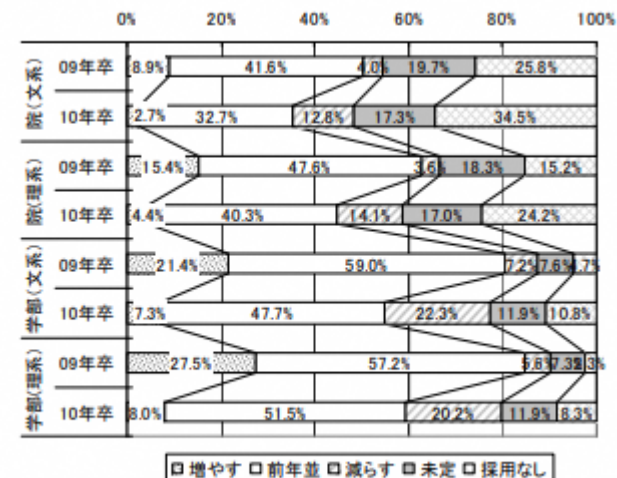
【図2-2 就職を希望する企業：10年卒大学生の就職意識調査】

景気後退の影響は避けられず 採用拡大から採用縮小へ転換

売り手市場から買い手市場へ

2009年卒採用まで続いていた採用拡大傾向は、2010年卒採用から縮小傾向へと転換した。弊社実施の2009年2月調査では、今期採用数を「前年採用数より増やす」とする企業が前年調査より減少し、「前年より減らす」とする企業が前年調査より増加、その結果、「前年より減らす」が「前年より増やす」を上回った。また、「前年並み」とする企業も前年調査より減少した（図3-1）。

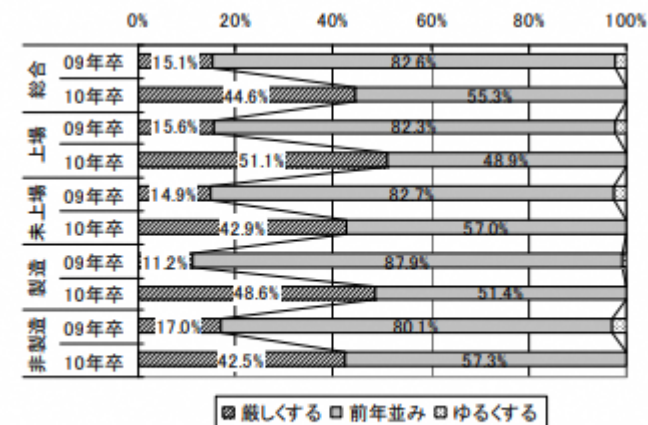
注意したいのは約50%の企業が学部生を前年並みに採用するとしていること（院生ではこの数値がやや下がるが、もともとの数値が学部生より小さく、減少幅は学部生・文系より少ない）。



【図3-1 採用予定数：10年卒採用予定調査】

質を重視した採用へ

の2009年2月調査で、選考基準を前年より「厳しくする」という企業が大幅に増加した。2009年卒採用でも「厳しくする」は「ゆるくする」より多かったが、80%以上の企業は「前年並み」だった。2010年卒採用では、この「前年並み」が大幅に減少し、「厳しくする」が50%近くにまで増加している（図3-3）。質と量のいずれを重視するかでも、量重視派はゼロに近くなり、ほぼすべてが質重視派である。質重視派の中でも、「量よりは質を重視」が減少し、「徹底して質を重視」が10pt以上増加した。結果、半数近くが「徹底して質を重視」だ。



【図3-3 選考基準：10年卒採用予定調査】

## 採用市場の変化からみる2022年卒新卒採用の展望について

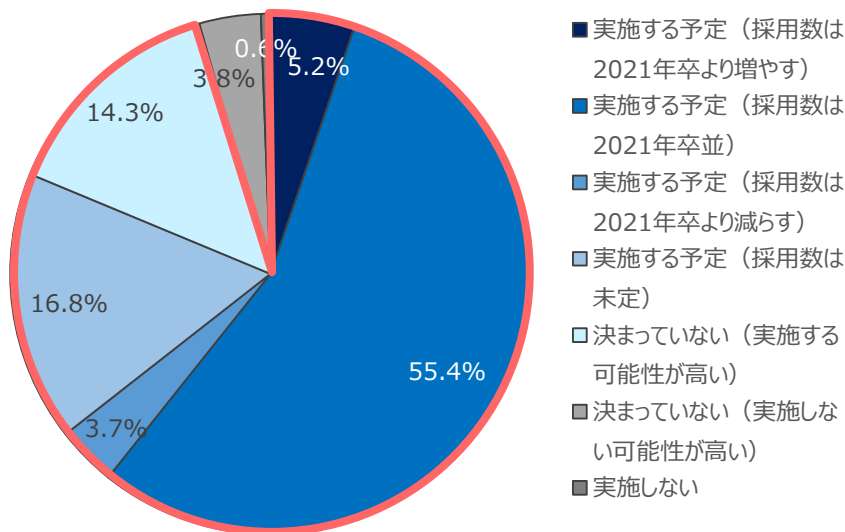
1. 21卒の振り返り
2. 22卒の現状と3月の重要性
3. コロナによる影響
4. まとめ

## コロナの影響はあるが、採用を継続する企業が9割

採用手法としてWEB化を重視する企業が増加予定のため、  
3月以降も引き続き**オンライン対応の準備**が必要

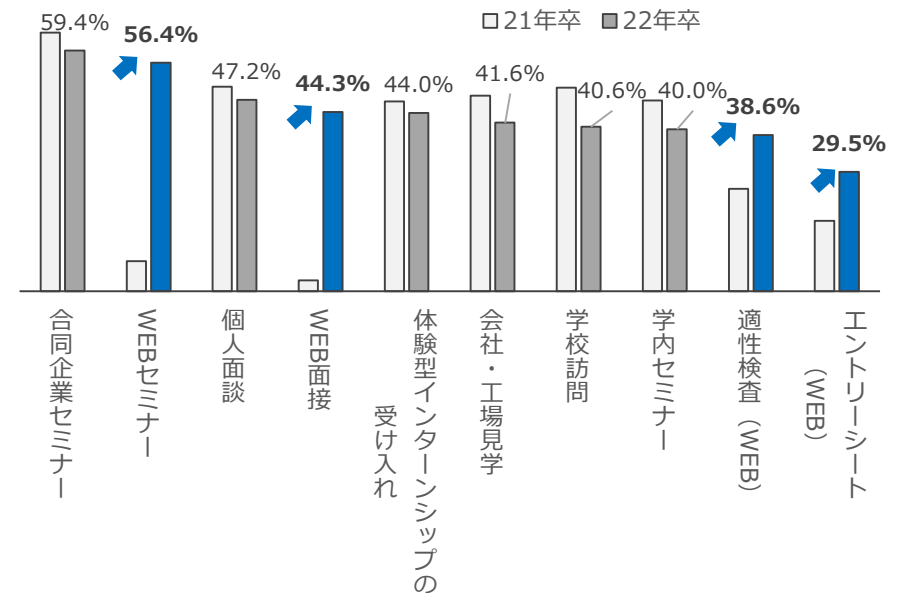
### ★9割の企業は新卒採用を実施する

22年卒 企業の新卒採用の実施状況



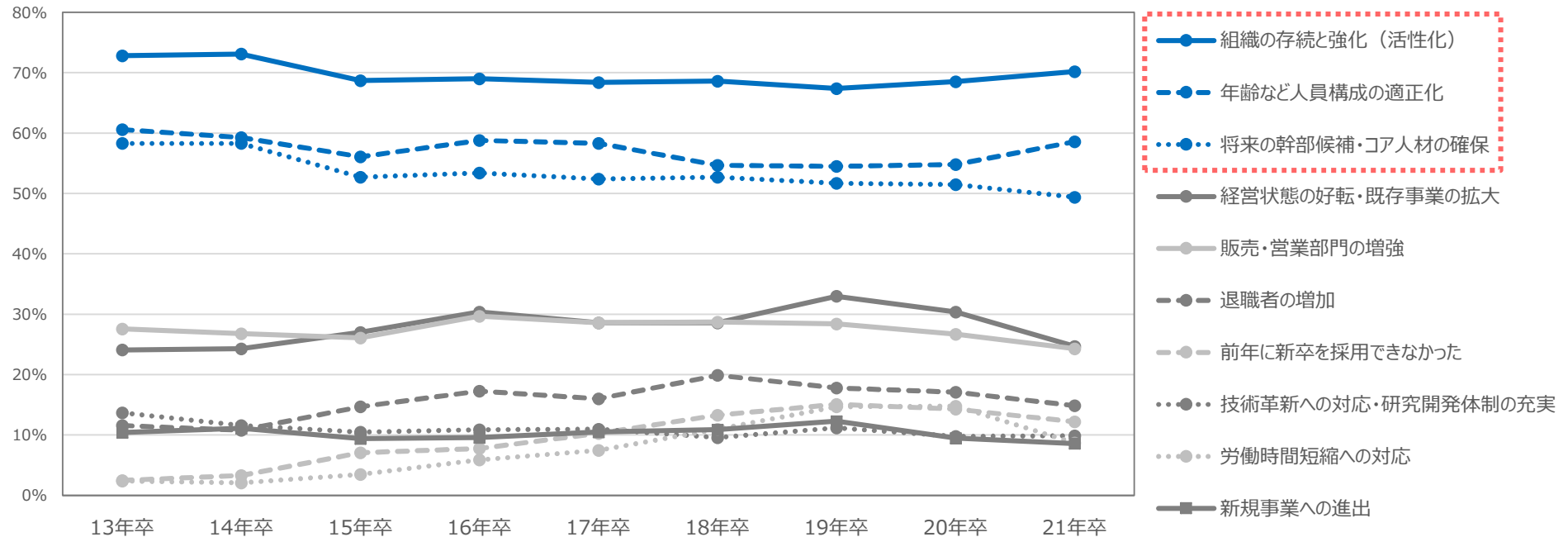
### ★WEB関連の採用手法は全項目で前年より重視されている

22年卒 次年度の採用手法の重点項目（前年比較）



## 新卒採用実施の理由は『短期的な人員需要』ではない

新卒採用実施の理由（経年比較）※上位10位抜粋



### ★新卒採用実施の理由は『組織の活性化』『組織構成の適正化』『将来の幹部候補・コア人材の確保』

新卒採用実施の理由は、13年卒以降『組織の存続と強化（活性化）』の割合が最も高い。

次いで、『年齢など人員構成の適正化』の割合が高くなっている。

また、『将来の幹部候補・コア人材の確保』の割合も高い。新卒採用者は経験者採用者より企業DNAを継承しやすいことが背景と考えられる。

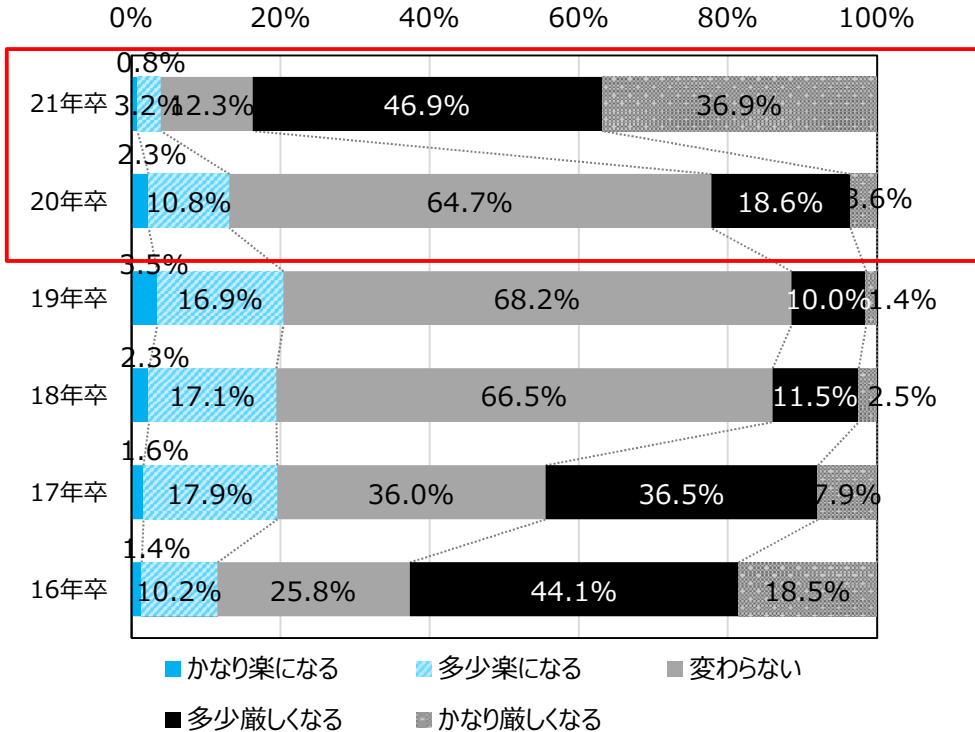
### 3. | コロナによる影響（コロナ禍の学生意識）（2021年卒）

#### 2021年卒学生の就職活動は8割以上が「先輩よりも厳しくなる」と意識

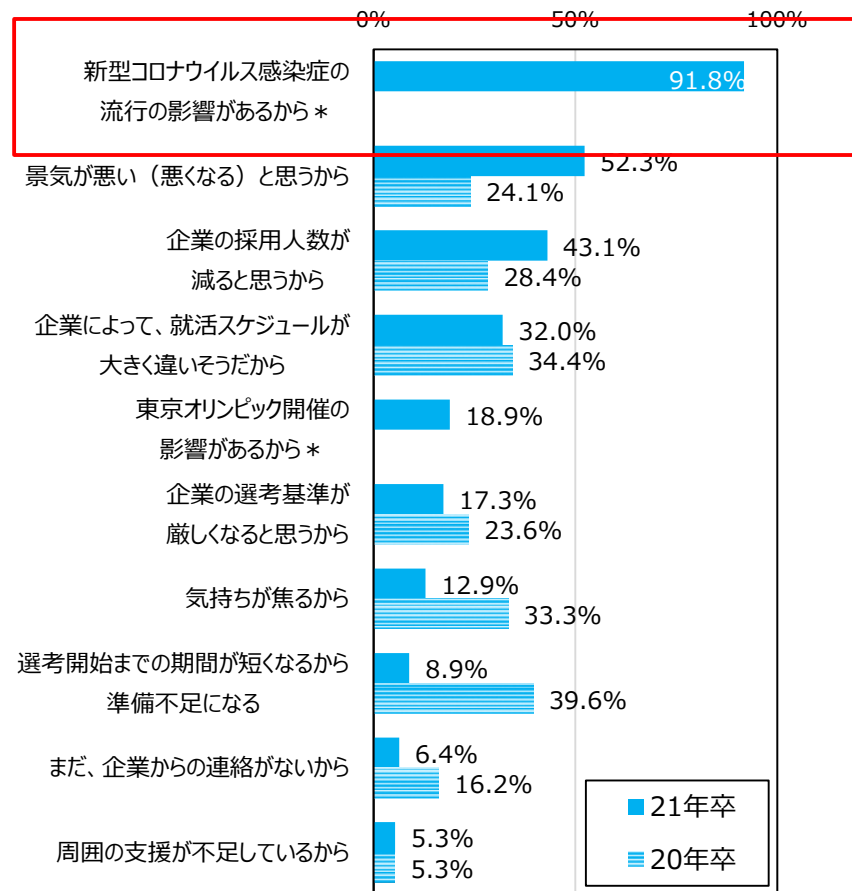
16年卒、17年卒は採用スケジュールの変更が相次いだ、ここ数年は変更もなく先輩の就職活動状況を参考にできたうえに、売り手市場が続いていたこともあり、学生の就職活動への認識はどちらかというと楽観的なものが続いていた。

しかし、2021年卒学生は8割を超える学生が「厳しくなる」と回答しており、理由は「新型コロナウイルスの影響」が91.8%となっていた。

先輩と比較して自分たちの就職活動は（3月時点）



厳しくなると思う理由（3月時点/上位抜粋/複数回答）

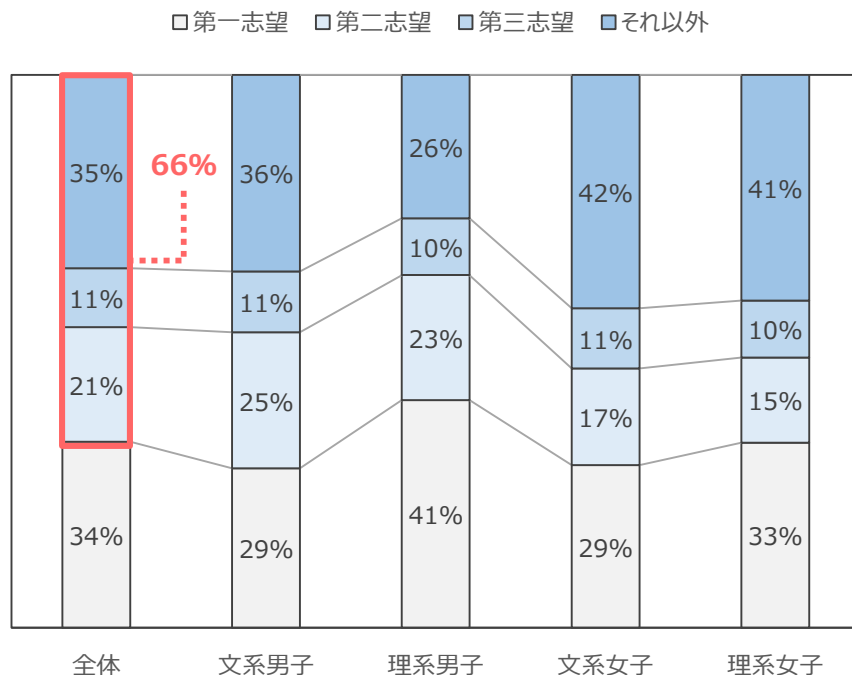




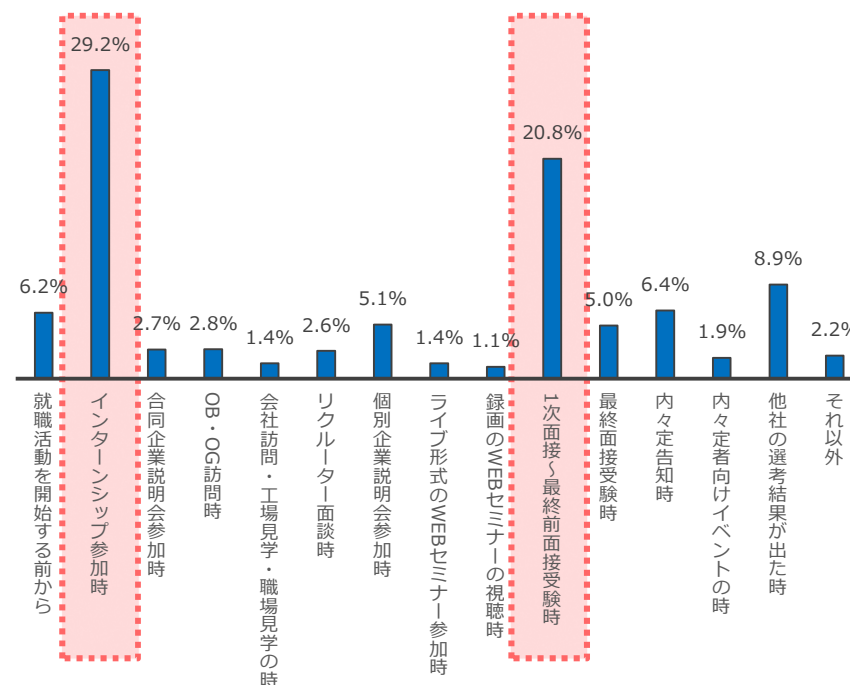
### 3. | コロナによる影響 学生の志向（就職観）について

#### 面接は入社意思決定において重要なタイミングである

入社予定先企業は初めてその企業と接触する前の時点では第何志望だったか



その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング



★入社予定先が就活初期から第一志望企業である割合は34.7%

学生の3人に1人しか第一志望への入社は実現しない。66%の学生は第一志望以外の企業に入社予定。  
理系学生は、他の属性と比較して第一志望への入社割合が高い。

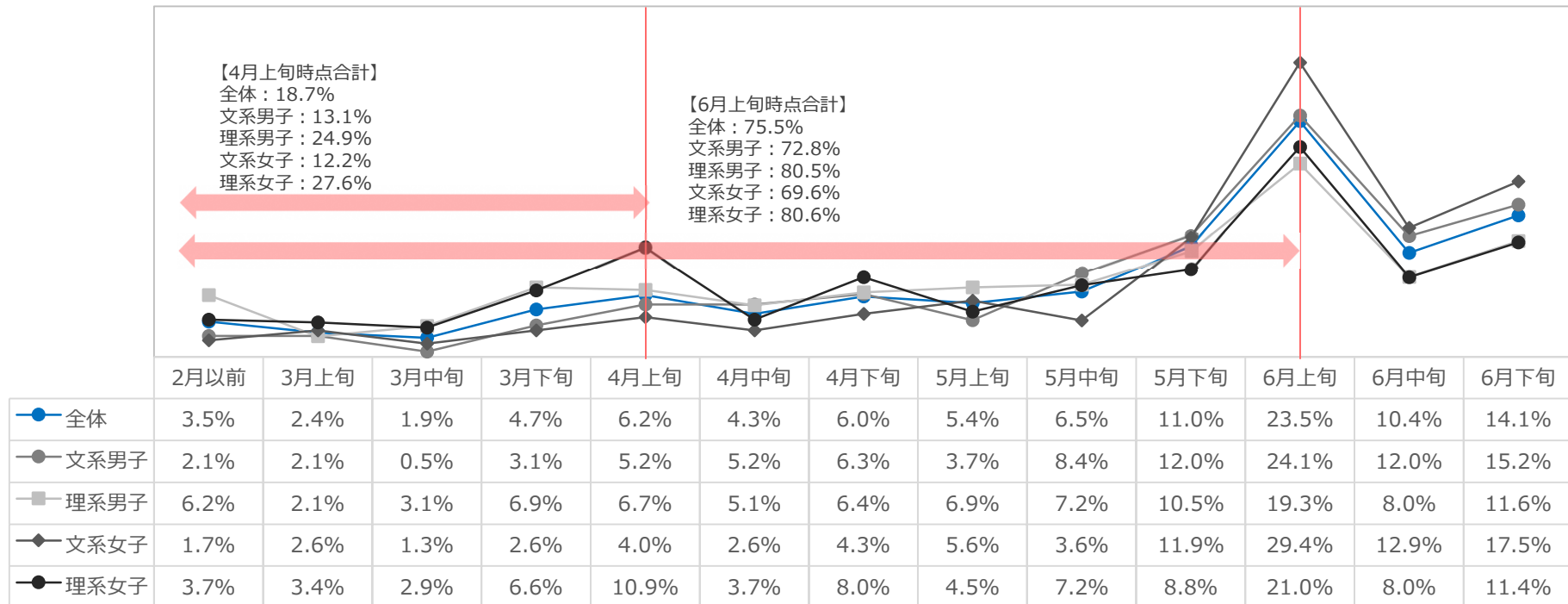
★面接は学生の入社意思決定の重要なタイミングである

学生の入社意思が高まるタイミング1位は『インターンシップ参加時』である。また、面接以外に『1次面接～最終面接』を通して志望度を高めている。  
インターンシップコンテンツや説明会・面接の内容、面接官の受け答えを再確認する必要がある。

### 3. | コロナによる影響 学生の志向（就職観）について

#### 学生は6月を中心に意思を固める

内々定獲得後、入社を固めた時期



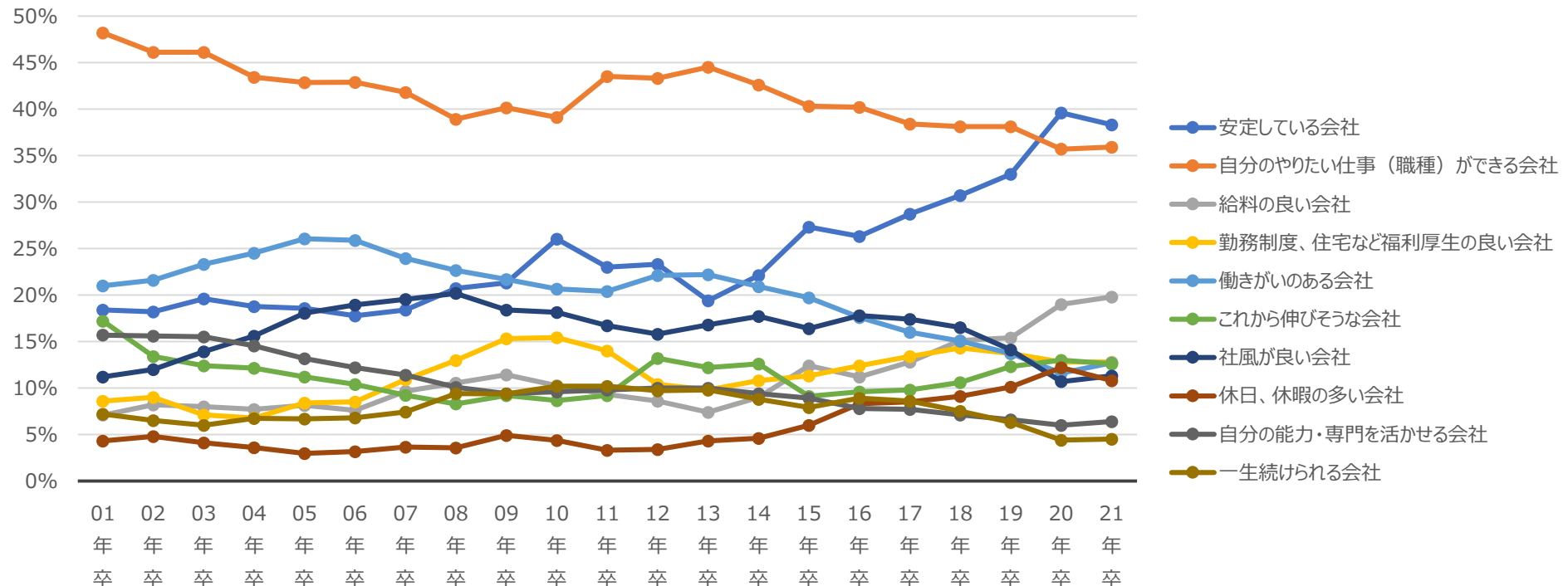
**★入社意思の決定は6月上旬が最も高い。**

入社意思決定のピークは6月上旬である。

ただし、6月に入社意思を固める割合は文系学生が約6割に対して、理系学生は約4割と理系学生の意思決定のタイミングが早いことがわかる。

## 企業を選ぶとき注目するポイント1位は『安定している会社』

企業を選ぶとき注目するポイント（2つ選択） ※21年卒調査において上位10項目の推移



### ★『自分のやりたい仕事ができる』+『安定している』が企業選択で重視されている

『自分のやりたい仕事ができる』は下降傾向だが、20年間変わらず重視されている。

『安定している』は10年卒調査から徐々に上昇をはじめ、20年卒からトップとなった。『給与の良い会社』も上昇し、20年卒から上位3位に入っている。

一方、20年前は2位だった「働きがいのある会社」は下降し続けている。

昨今の学生はより現実的な感覚で企業を選択し、『終身雇用』ではなく『安定して自分の好きな仕事ができる環境』を重視するようになったと考えられる。

## 採用市場の変化からみる2022年卒新卒採用の展望について

1. 21卒の振り返り
2. 22卒の現状と3月の重要性
3. コロナによる影響
4. まとめ

### 3月までに準備しておくこと

- ①コロナウィルス感染防止の観点から、WEBでの説明会・面接の環境準備
- ②広報面での修正・見直し（こっちゃけサイトの掲載内容修正や先輩情報の更新）
- ③3月1日～の説明会の日程の検討 広報解禁日には説明会・選考会の日程を提示
- ④22卒と並行して、23卒のインターンシップの受け入れ検討

上記は就職活動解禁前の準備となります。学生はWEBでも説明会が受けれるようになったので、県内企業だけではなく他エリアの企業と今後バッティングする可能性もあります。説明会内容や選考スケジュールなど学生が聞いて・見てわかりやすいものをご準備ください。また、WEBと対面での採用手法をご用意いただくことを推奨いたします。採用は人事担当者だけではなく、会社として取り組めるようご調整お願いします。

# オンラインを実施する上での 参考資料

# オンライン採用のメリット・デメリット

## 学生側

コスト削減(金銭)  
コスト削減(時間)  
選択肢の拡大(エリア等)

情報量の不足  
心理的ハードル  
(孤独感・不安感・切り替えの難しさ)  
デバイス環境

## 企業側

コスト削減(金銭)  
コスト削減(時間)  
母集団・応募者層の広がり

見極めの情報不足  
グリップ不足  
情報漏洩・拡散の不安

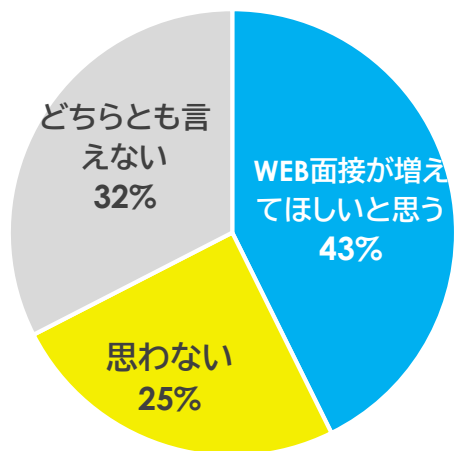
メリット

デメリット

# メリット | 「移動時間」と「就活費用」の負担軽減

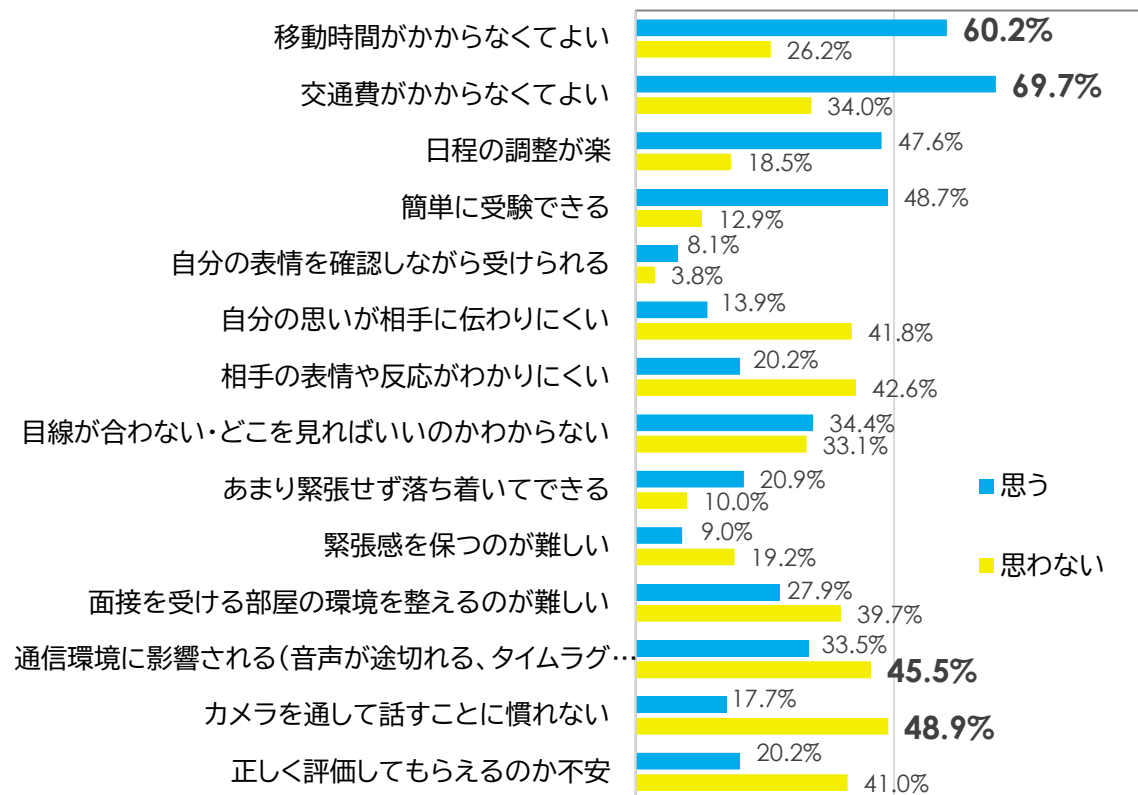
WEB面接を受けたことのある学生の感想は、良い意見と悪い意見が半々という結果に。  
**良い意見を持った学生は「移動時間」「交通費」の負担が減った**など実利的なポイントをあげ、一方、  
**悪い印象を持った学生は「通信環境」や「相手の表情や反応」などコミュニケーションに関する不安**をあげた。

(WEB面接を受けたことのある人限定)  
 WEB面接を実施する企業が増えてほしいか



(学生の声/抜粋)  
 ・WEB説明会やWEB面談はこの状況下ではありがたい  
 ・社員の健康と家族の安全を第一に、学生へも配慮をしてくださっている企業の方の印象はとても良い。  
 ・普段なかなか確認できない企業の方の臨機応変な対応を知ることができている。  
 ・地方学生の交通費負担の軽減という面でとても助かる  
 「企業の採用担当者に求めること」 出所:マイナビ 2021年卒 大学生 新型コロナウイルス感染拡大に対する就職活動実態調査

「WEB面接を実施する企業が増えてほしい」と思う人・思わない人/それぞれの感想

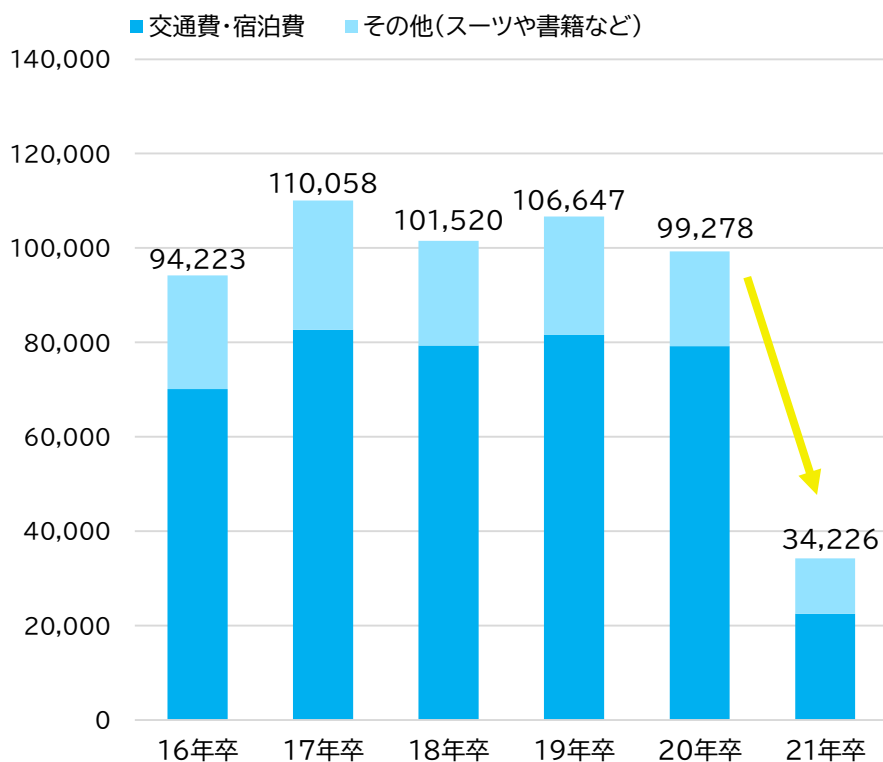




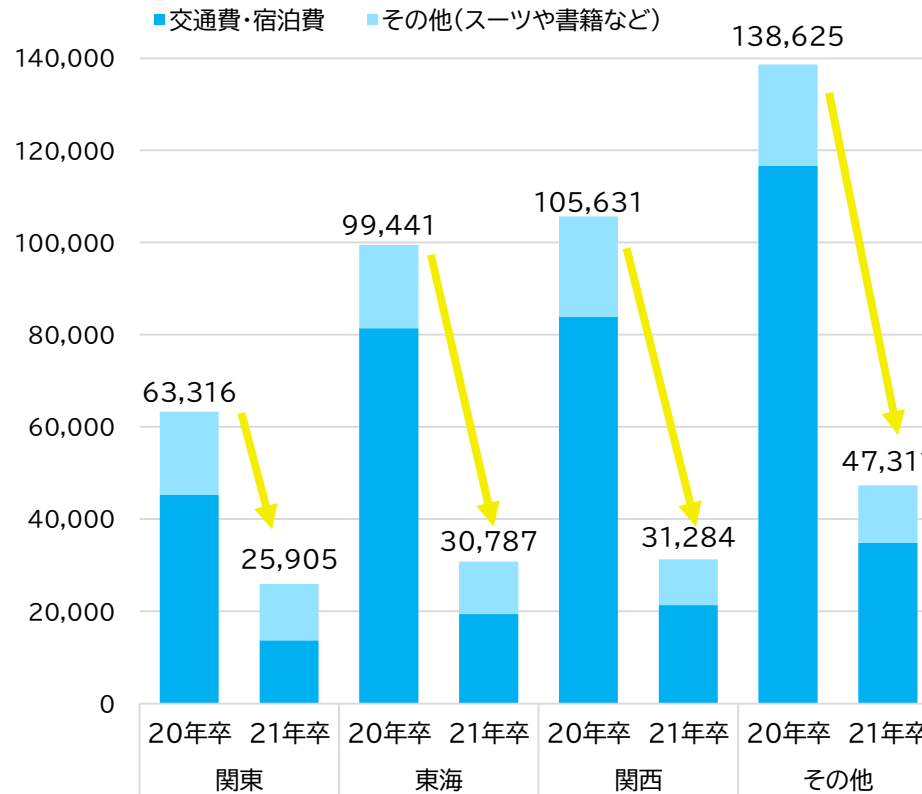
# メリット | 学生の就活費用の削減

就職活動費用(交通費・宿泊費)の負担は関東・関西・東海を除く地域での負担が最も多くなっている現実も。コミュニケーション面での配慮は必要だが、WEB面接の導入で経済的理由や移動時間の負担が軽減され、選考参加のハードルが低くなる(=新しいターゲットの獲得ができる)可能性は非常に高い。

3～6月の就活費用合計 | 経年



3～6月の就活費用合計 | エリア別



マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査 6月の活動状況(2020年6月)

## 参考 | WEB上での採用活動において 学生・企業が感じたこと

(学生の声／抜粋)

### ■希望

- ・学生側も社員の雰囲気確かめたい。
- ・社員の雰囲気や社風は、WEBでは分かりにくい。WEB座談会や1対1のWEB面談、多くの社員を知る機会などを提供してほしい。
- ・(情報収集はWEBで可能なため)対面のときは質疑応答の時間を設けていただきたいです。また、会社の雰囲気が気になるため、社員の方々の様子が少しでも分かるよう複数の社員さんが説明会に参加していただけると嬉しい。

### ■メリット

- ・コロナでweb面接のため金銭的にも身体的にも楽だった
- ・webで内定者向けの会社説明会が改めてあり、仕事内容を聞いて働きたい意欲がより強くなった。

### ■デメリット

- ・コロナの影響で基本的にWebのため、経済面では助かっているが、実際に工場見学や働いている風景を見ることができないのがつらいです。
- ・Webを用いた面接も深掘りが中々出来ず、自分の思った以上に企業のことを知る機会が少ないことに苦慮している。

(企業の声／抜粋)

### ■メリット

- ✓説明会では遠方に住む学生の時間・交通費の負担が減り参加率が向上した。また、アーカイブされた説明会動画を繰り返し閲覧できるため学生の理解向上に繋がった。
- ✓当日無断キャンセルがほぼなくなった。
- ✓質疑応答がチャットにより活発になった。
- ✓採用以外の業務にWEBツールを導入するきっかけ、テレワークについて考えるきっかけとなった。また、学生に対して企業としての情報リテラシーを示せた。
- ✓学生と面接官共に、新型コロナウイルス感染症感染リスクの解消。学生側は、マスクを外しての面接が可能となったので、表情を見ることができた。
- ✓他の地域やテレワークしている社員も入ってくれて、学生の皆さんには仕事やライフワークについてイメージしやすくなったと思う。

### ■デメリット

- ✓ 学生が面接を録画するリスクに対して不安がある
- ✓ カンペを準備して面接に臨む学生がいたが対策が困難

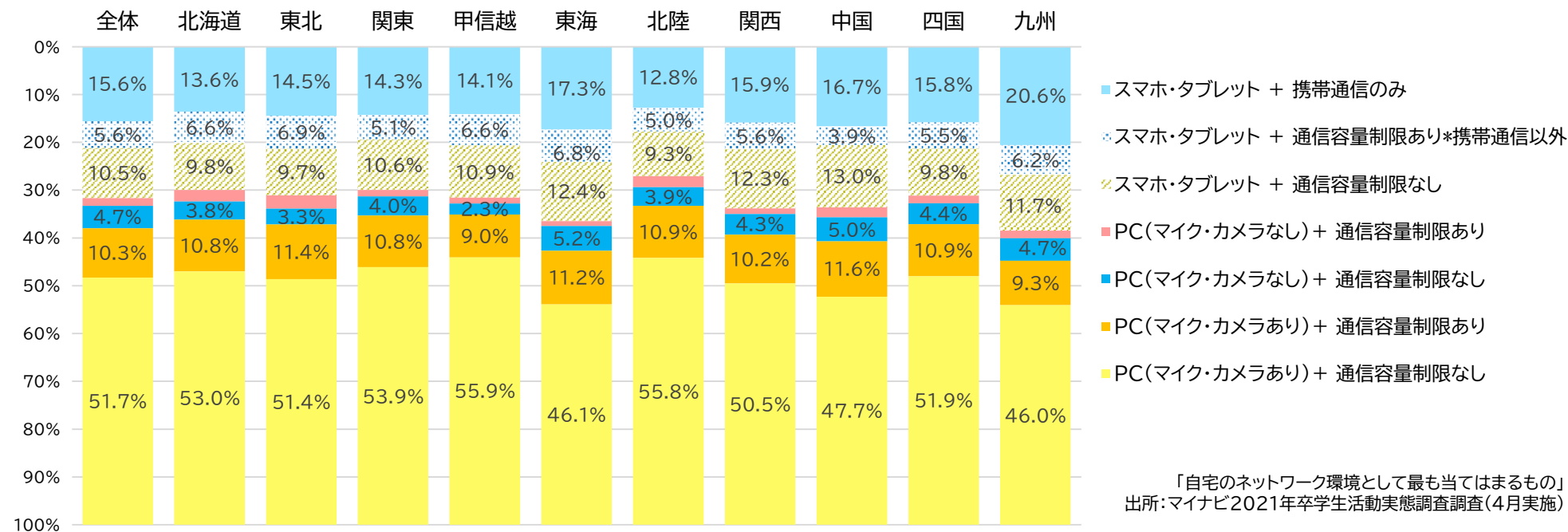
出所:マイナビ 2021年卒 大学生 新型コロナウイルス感染拡大に対する就職活動実態調査  
マイナビ 2021年卒 学生就職モニター調査 3月の活動状況(2020年3月)  
2021年卒マイナビ企業新卒採用活動状況調査(6月実施)  
その他、定性インタビュー調査(2020年6~7月)

# デメリット | 学生が置かれていたネットワーク環境の実態

自宅のネットワーク環境として最も多いのは「PC(マイク・カメラあり)+通信容量制限なし」で、全国的に半数程度だが**実際には「環境の格差」があったことがわかる**。「カメラ・マイクの購入」「通信環境契約の変更」などの準備に追われたり、「スマホ・タブレット+携帯通信のみ」という学生も全国平均で15.6ptとなっている。

**面接予約時に、「利用できるデバイス」を確認するアンケートを設置するなど、通信不備リスクに備えることも重要だ。**

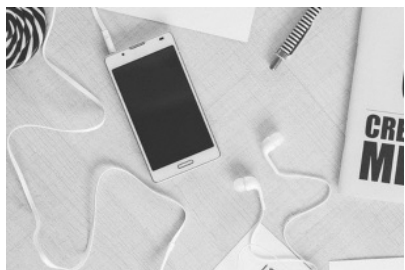
自宅のネットワーク環境として最も当てはまるもの



(学生の声/抜粋)

- ・WEBカメラ購入など、金銭的負担になっている。採用担当の方には、学生にも整えられる環境で安全に受けられるように配慮していただけたい。
- ・最終面接で、企業様の役員の方の声がほとんど聞き取れないことがあった。何度も聞き返すと評価が下がるのではないかと不安になった。

## ①WEBセミナー／WEB面談の注意事項とTIPS



### ✓ 事前確認～接続環境＋服装の案内＋雑談タイム

使用するツールごとに推奨環境が異なります。接続環境のテストは学生・企業双方にて必ず事前に実施しましょう。  
(対応デバイス／対応ブラウザ／アプリインストール有無／平均通信容量／カメラ・マイクの動作確認…等)

「学生側の通信環境が悪い」だけでなく、**企業側の声が届かない・聞こえづらいことも少なくありません**。事前の確認は非常に重要となります。また同時に、**学生に対して服装のご案内**をお願いします。安心して面接に臨んでもらえる準備をしましょう。

→接続チェック時、**面接とは関係の無い雑談など、コミュニケーションを通じて選考進捗などを確認することも一案**です！



### ✓ 利用するWEBツールの通信量を確認し、面談のレーン数を調整

会社の接続環境や、使用するWEBツールによって通信負荷の容量が異なります。大人数が同時に動画接続を行うと、サーバ負荷がかかりトラブルを引き起こしかねません。

面接数が多い場合、システム担当部署と事前に確認し、無理のない容量での面接レーン(同時進行)数を設定してください。



### ✓ ラइटニング(光／明るさの確保)とイヤホンを準備！

通常の会議室のでは多くの場合、顔が暗く写ることが多いものです。悪い印象を与えないよう専用のLEDライトの準備、または自然光の入る会議室の利用をおすすめします。(デスク上に白いコピー用紙を置くだけでも、レフ板代わりに)

また、PCのスピーカーでは音が聞き取りづらく、声も届きづらくなりがちのため、マイク付イヤホンが便利です。

### ✓ 10～5分前から接続

通信トラブル等で開始時間が遅れるケースは少なくありません。面接ごとに早めに接続し、学生を迎えましょう。  
**緊張をほぐす時間として、雑談タイムに活用いただくこともおすすめです。**



### ✓ 話すタイミングのルール化

会話のタイムラグが発生します。通常のテンポで話をする则相手と声がかぶってしまい、話が進みづらいことも。自分が話し終わったら、「●●さん、いかがですか？」とバトンを渡したり、どうしても割り込んで質問が必要な場合は、画面上で手を上げて「ちょっとよろしいですか？」とお伝えするとスムーズに進みやすくなります。

## ②対面イベントの準備TIPS（マイナビ7月合同企業説明会景より）

### 密を避けるソーシャルディスタンス



エレベーターの人数制限



待機列の準備



飛沫対策



ブース内の人数制限

### 動線の管理(一方通行)



検温



アルコール消毒



受付

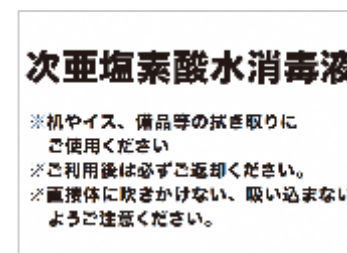
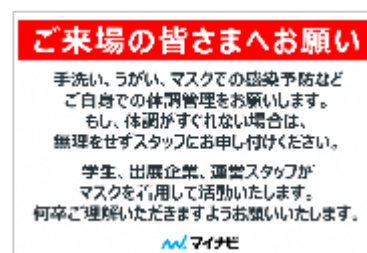


配布物の受け渡し



出口からの再入場禁止

### 掲示での注意喚起



参考：内閣官房「新型コロナウイルス感染症対策」ホームページ＋一般社団法人日本展示会協会「展示会業界におけるCOVID-19 感染拡大予防ガイドライン」